

企業を元気に、情熱系経営マガジン



「継ぐ」極意

創業の理念を
次代へつなぐ親族外承継
株式会社ケアサポートりんぐ
黒岩 徹也さん

堺のイチオシ

現地との信頼関係が実現する
新規原材料の開発・調達が強み
誠晃貿易株式会社

SAKAIの傑作

古墳のオリジナル商品で
大阪唯一の世界遺産をPR
ホウユウ株式会社

SPECIAL FEATURE

オープンデータポータルサイト
『さかしる』で
新たな事業展開

政令指定都市として国内初

法人企業情報のオープンデータポータルサイト『さかしる』がオープン

法人企業情報の
オープンデータ
ポータルサイト

堺市内の約24,000社の法人企業情報が一覧できるデータベース『さかしる』が2月1日から本格的に運用をスタートさせました。自社の情報発信をはじめ、新規取引先の開拓や異業種連携による新ビジネスの創出など、その可能性は大きく広がっています。『さかしる』の構築を担った“オープンデータ伝道師”(株)B Inc.代表取締役社長・福野泰介さんと、(株)ジョイントメディア企画・ディレクター／営業・野村範仁さんにお話をうかがいました。

オープンデータの活用が
新しく面白いビジネスに

「さかしる」はオープンデータを活用したポータルサイトですが、福野さんがオープンデータに着目するようになったきっかけは？

福野 以前はフィーチャーフォンのソフトウェアを開発していましたが、スマートフォン時代の時代になって次のビジネスを考えていた時に、参画していたW3C(※1)の国際会議でオープンデータ(※2)と出会いました。今まで情報をあまり活用してこなかった行政にアプローチしてみたいと、まず地元の福井県鯖江市で、実験的に予算ゼロで始めたのが市内の公衆トイレの位置がわかるアプリでした。この反響が大きく、その後、女子高生たちのアイデアから図書館の空席状況のわかるアプリの開発などに広がったのですが、そこからオープン



『さかしる』のトップ画面



ふくの たいすけ
福野 泰介さん

1978年、石川県出身。(株)B Inc.代表取締役社長。福井県鯖江市におけるオープンデータの活用事例を全国でも積極的に推進。その実績からデジタル庁の「オープンデータ伝道師」、総務省の「地域情報化アドバイザー」に就任。



(株)B Inc.
ホームページ

気軽に利活用されるよう
親しみあるサイトに工夫

『さかしる』をどのようなサイトにしようと考えられましたか。

福野 聞けば、堺市内で自社のウェブサイトを持って情報発信している企業は約1割だそうで、もったいなさそうでした。また、ウェブサイトを持っていない会社は無いに等しいのです。

データを活用すると面白いことがどんどんできそうだと考えました。堺市は、大企業がたくさんある街だと思っていたのと同時に、小さなものづくり企業がたくさんあることに魅力を感じました。新しいビジネスを立ち上げる時の源泉は「何かをつくる」ことだと思っています。

自社サイトがなくても、『さかしる』から積極的に情報発信できるよう、まず気軽に活用してもらええるサイトを目指しました。

野村 私たちジョイントメディアは、サイトの構築からデザイン設計、ロゴデザインを担当しましたが、膨大なデータを扱うということで、サイト内の動きが遅くならないよう、さくさくとデータを呼び出すための工夫をしています。気軽に活用してもらうために、親しみやすく、そして何度訪ねても飽きないデザインを意識しました。一番の特徴は、『さかしる』の本来の機能である「検索」にすぐ入れるよう、トップ画面をシンプルに整理したこと。代わりに『さかしる』がどういうサイトをひと目でわかるようロゴまわりのデザインを工夫しました。

※1)W3C…World Wide Web Consortium(ワールド・ワイド・ウェブ・コンソーシアム)。World Wide Webで利用される各種技術の標準化を推進するために設立された標準化団体。
※2)オープンデータ…国や地方公共団体・事業者などが公開する自由に活用できるデータ。

『さかしる』とは？

国が公開している企業のオープンデータをもとに、堺市内に本社などを構える約24,000社の企業情報を掲載したオープンデータポータルサイトです。それぞれの企業が、さらに自社をアピールする情報や画像を入力することもでき、営業や採用活動、新事業創出のための連携先の開拓などに活用いただけます。

『さかしる』に登録すると？



ホームページがなくても、無料で自社の情報発信ができます！



補助金や助成金など、行政の支援情報が届きます！



堺の企業を知り、新しい発見が生まれます！

『さかしる』が新しい認証制度「GビジネスID」を利用するきっかけに

『さかしる』の命名の経緯は？

野村 何のためのサイトなのか、わかりやすく伝えたいと「堺を知る」を意味する「さかしる」を考えました。ここにも商標登録されておらず、また短くて、シンプルなのがいいと決まりました。
福野 「かしこい」を「賢い」とも言い、「さかしい、さかいし」というのも面白いですね。ロゴに古墳を使うアイデアも堺市出身の野村さんならではだと思います。

野村 古墳は堺の誰もが親しみを持っており、アイコンにふさわしいと思いました。あわせて『さかしる』の「し」がポイントで、「ひらめき」や「発見」をイメージさせています。

『さかしる』のPRや、利活用を促す仕掛けも野村さんたちが担当されたとか？

野村 各企業ページの情報を充実させていただくため、最初だけQRコードで簡単に入っていただけのようにしたのですが、そのQRコードの案内をプラスチックカードで送り、開封率を高めました。その効果か、本格稼働する前に約1000社の企業の書き込みがありました。

福野 現在は、国が新たに整備した

共通認証システムである「GビジネスID（詳細は4ページ『さかしる』の登録方法を参照ください）」を使って登録いただくようになっていきます。『さかしる』を機会に、このアカウントを取得されると、今後さまざまな行政サービスを活用しやすくなったり、各種申請がネットから簡単にできるようなったたりして業務の効率化を図ることができず。堺全体がテクノロジーに強い街になってくれればと思いますね。

新しい次元での企業間交流と、民間の新サービスの誕生に期待

最後に、『さかしる』の今後の展開への期待をお聞かせください。

福野 自社の事業内容や取り組みたい新規事業のイメージなどを詳しく入力することで、企業同士の出会い

がどんどん生まれる可能性があります。新しい次元での交流を政令指定都市で初めてスタートさせたということ

で、堺からいろいろな面白い事例が生まれてくれればと思います。

野村 1月に開催したハッカソン（4ページ参照）でさまざまなアプリのアイデアが生まれたように、誰もが自由に使える『さかしる』のオープンデータを活用して、新たなアプリ、サービスが民間からどんどん生まれ、盛り上がるだろうと期待しています。



写真：[Nail+]ジョイントメディア

のむらのりひと 野村 範仁さん

1989年、堺市出身。(株)ジョイントメディアで、企画・ディレクター／営業を担当。地域の情報発信に積極的に取り組む。『さかしる』ではデザイン設計・ロゴデザイン、ポータルサイトの設計・構築、市内企業へのPR企画・利活用推進を担当した。



(株)ジョイントメディア ホームページ



掲載企業のデータ検索画面

『さかsher』に登録された企業の声

1月時点で、約1,000社の企業が、事業内容などの情報を入力されています。
登録いただいた企業の皆さまから『さかsher』の感想や期待の声をうかがいました。

【業種】製造業

セッツ株式会社

本社／堺市西区築港新町1-5-10
TEL／072-280-2650

企業と行政がコラボレーションしたプラットフォームで、今後の発展が期待できる。当社でも異業種協業などを検討する際に、地元の優良企業を調査するツールの一つとして活用したい。

【業種】製造業

株式会社和泉利器製作所

本社／堺市堺区九間町東1丁1番5号
TEL／072-238-0888

堺打刃物のことや、「堺に旅したい!」と思っ
てもらえる魅力的なものをしっかり取り上げ
てほしい。

【業種】製造業

朝日製パン株式会社

本社／堺市堺区東雲西町1-2-22
TEL／072-238-5481

とても面白い取り組みだと思う。検索方式
がシンプルで、画像や文字も大きく見やすい。
「こんな堺の企業があったんだ」という新しい
発見があった。

【業種】卸売業

有限会社ティーツーカンパニー

本社／堺市南区和田493-2
TEL／072-292-8655

もっと見やすくなれば、営業活動に活かせ
るかも。まだ活用法がわかっていないので、
今後、考えていきたい。

【業種】卸売業

株式会社GALLEコーポレーション

本社／堺市美原区太井80-1
TEL／072-362-7107

行政の支援情報が通知されるようなので、
将来的に活用していきたい。

【業種】サービス業

有限会社フレーム

本社／堺市北区野遠町281-6
TEL／072-257-8882

ロゴやマークにインパクトがある。まだホー
ムページがないので、『さかsher』を利用して
アピールしていきたい。当社のような小規模
の事業所でも目につくような検索ツールにな
ることを期待している。

【業種】運輸業

大阪第一交通株式会社

本社／堺市堺区神南辺町1-45-1
TEL／072-232-6764

企業情報だけでなく、どういうサービスや
技術に特化しているのかが、ひと目でわかっ
て良かったです。今後、営業面や社内の課題
解決などに活用していきたい。

【業種】医療・福祉

有限会社ワイ・デンタル・ラボ

本社／堺市堺区三宝町3-195-1
TEL／072-233-6618

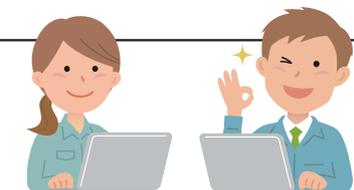
本サイトが異業種交流やマッチングのきっか
けとなることを期待している。そのためには、
各企業のホームページで相互リンクも実現し
てほしい。

【業種】情報通信業

株式会社M-PLANNING

本社／堺市東区日置荘西町2-41-30
TEL／072-249-7175

無料で利用できるサイトとして、自社のホー
ムページを持っていない企業にはメリットが
あると思った。スマートフォンからQRコード
を読み込んで、簡単に情報更新できるのに感
激した。



1月23日の「ハッカソン」で発表されたアプリの案



さかいで継 GO!!

優れた技術を持ちながら後継者不在に悩む企業と、起業家志望の人をマッチングさせるアプリ。ターゲット別に部屋を用意し、マッチングにはバーチャル技術やWeb会議システムも活用する。企業からのアピールに、『さかしる』を活用するほか、動画や他媒体で紹介された記事との連携も図る仕組み。



古墳巡りゲーム ～トゥーム・クエスト～

若い人たちにも堺の古墳に関心を持ってもらえるよう、堺市の企業を巡りながら古墳も巡る位置ゲーム。7つの古墳を巡りながら、「刃物を作っている会社を3つ調べよ」といった堺市の企業にまつわるミッションをクリアしていく。古墳をガイドしながら堺の企業についても知ってもらう仕組み。



さかしるさんぽ

歴史ある堺という街の認知度をさらに向上させることをねらいとした地図アプリ。遠足や修学旅行を計画する方をターゲットとし、市内を通る3つの街道や神社などの位置をわかりやすく表示している。目的地を入力すると、推奨ルートが表示され、途中の観光スポットをクリックすると詳細が案内される仕組み。

『さかしる』を活用したサービスの開発へ 「アイデアソン・ハッカソン」を開催

『さかしる』の2月1日の本格運用に先駆け、1月22日・23日に、『さかしる』で公開している企業データを活用したサービスの開発を行うワークショップ「アイデアソン・ハッカソン」を開催しました。「企業情報が一覧できるだけでは、もったいない」と参加者の皆さんから、さまざまなアイデアが出され、ハッカソンでは実際にアプリの仕様まで検討しました。

参加者の声



Y・Tさん

自分のアイデアが他の方たちの豊かな発想力でさらに膨らまされたことに感銘を受けた。技術的なことは授業で学べるが、発想力を高めることの大切さを感じた。



Y・Hさん

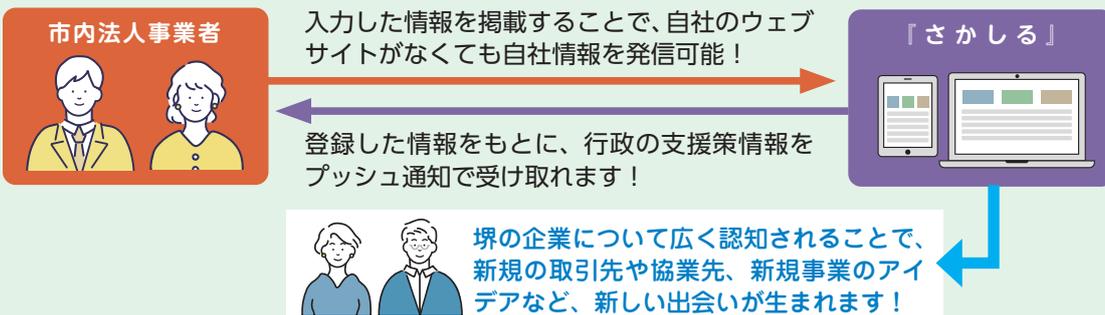
行政が運営している安心感の中で、民間がより良いサービスを作っていく。こういう流れが堺市のほかにも広がれば、社会はもっと面白くなると思った。



W・Tさん

初めての人たちと短い時間の中でアプリを作り上げていく難しさを感じながら、さまざまな技術をすり合わせていくプロセスが面白く、良い勉強になった。

『さかしる』に登録することで、自社の情報を広く発信できるほか、行政からの支援情報が送られてきます。



『さかしる』の登録方法

企業情報の登録には、国の共通認証システムである「G Biz ID」のうち「gBizIDプライム」「gBizIDメンバー」でログインできます。

gBizID

- gBizID プライム
- gBizID メンバー
- × gBizID エントリー

「G Biz ID」の取得についてはこちらをご覧ください→



「G Biz ID」のアカウントを取得すれば、複数の行政サービスを利用することができます。例えば、補助金の申請から社会保険の手続き、飲食店の営業許可申請などが、この「G Biz ID」でインターネットからできるようになります。

これからの企業経営に欠かせない「G Biz ID」をこの機会に取得し、『さかしる』にも企業情報を登録してください。

オーダーに応じて

特殊なものや集めにくいものも調達

わが国では1980年代に、円高や第一次産業の就労者の減少などを背景に農水産物の輸入が急拡大しました。誠晃貿易株式会社も、ちょうどその頃の1984年の創業です。当時は主に缶詰の原材料としてマッシュルームやアサリなどを取り扱っていたのですが、その後、缶詰に代わって冷凍食品が台頭し、現在は同社が輸入する農水産物も冷凍加工食品に多く使われているということです。

そうしたなかで同社の強みは、40年近い実績のなかで築いたネットワークにより、顧客のオーダーに応じて新たな産地や農水産物、さらには加工業者を現地で調査、開拓できることでしょうか。「例えば、最近原材料が減少している魚のすり身では、新たな原材料となる魚の調査や開発を行っています」と江田昇平専務取締役。

また変わったところでは、キッチン・キットサンという高分子の原材料となるエビの殻だけを集めて、現地で処理・加工まで施したものを日本へ輸入しています。このような特殊なものや大量に集めにくいものの調達も得意としています。

日本の食材のほか、 地元・堺の打刃物の輸出も

逆に、海外の企業から日本の食品の輸出について相談されることも少なくないとか。「フランスの企業から有機米を輸入したいという話もありました。日本の食材は価格も高めなので、輸出先は欧米が中心になりますが、香港やシンガポールからの問い合わせもあります」。海外との取引については、現地のバイヤーとの交



生鮮、冷凍野菜・水産物、栗加工品など、同社の強みは、徹底した安心・安全な商品作り。



文化や価値観の全く異なる海外との取引において重要なのは「コミュニケーションを密接に重ねたうえで契約は必ず書面で交わすこと、品質管理を相手任せにしないこと」と江田専務は語っている。

渉、販売チャネルの開拓など、同社のノウハウを生かした輸出支援も担っています。

輸出事業としては、地元堺の打刃物を一部輸出しています。「包丁は食品と親和性もあり、良い食材は良い道具で調理したいというニーズは高いと思います。海外の取引先へ提案し受注になることもあり、高品質の堺の打刃物は海外でも人気です」と江田専務は語っています。

地域への還元から介護事業をスタート 将来は海外での事業展開も視野に

ところで同社では、2016年に関連会社の株式会社創新ウェルネスを設立。リハビリ特化型デイサービス「ポシブル堺鉄砲町」を運営しています。そのきっかけについて「社長がリハビリを受けたことがあり、リハビリによって筋力の低下を防止し、日々の活力を取り戻す効果を実感しました。地域への還元ということでスタートさせた事業です」と江田専務。



要介護者・支援者を対象としたリハビリ特化型デイサービス「ポシブル堺鉄砲町」。一人ひとりの目標に合わせたプログラムが作成される。

「孫と旅行に行きたい」など、利用者一人ひとりから具体的な目標をヒアリングし、それに向けて丁寧なサービスを行い、地元の利用者様から感謝の声をいただいています。

「当事業で得たノウハウを生かし、将来、東南アジア諸国も高齢化社会を迎えた時に介護事業を展開することも考えられる」と江田専務。同社の輸出入事業に新たな広がりを感じました。

活用した事業メニュー

■技術シーズ提案支援事業

当社が取り扱うエビ殻という廃棄物をポリマー化することで、さまざまな活用が考えられないかと、大手メーカーとの取引、提携を考えて利用しました。

■ものづくり経営大学

将来の事業承継に備えて、中小企業の経営者として求められる人間力や知識、スキルを習得すべく受講しました。

■医工連携促進事業

さまざまなニーズやシーズを理解するため「さかい健康医療ものづくり研究会」に入会しました。

誠晃貿易株式会社

代表者名／代表取締役 江田 晃
本社／堺市堺区宿屋町東2-2-33
TEL／072-222-5740
設立／1984年設立
資本金／1,000万円
事業内容／食品の輸出入、現地開発、輸出支援



誠晃貿易株式会社
ホームページ



**現地との信頼関係が実現する
新規原材料の開発・調達が強み**

令和4年度 堺市の中小企業者向け支援事業のご紹介

堺市地域産業課

○堺市ものづくり新事業チャレンジ支援補助金

市内中小企業の新たなものづくりにチャレンジする経費を補助します。

■補助内容

期間…1年 補助率…補助対象経費の1/2以内 限度額 300万円

■募集期間

2022年5月2日～6月30日(予定)

○堺市デジタル化促進補助金

市内中小企業の販路拡大及び業務プロセスにかかるデジタル化を支援します。(申請には、堺市産業振興センターが行う産業DX支援センターによる支援を受けることが必要です)

①販路拡大に係るデジタル化(小規模事業者は対象外)

補助率 3/4 限度額 100万円

②業務プロセスに係るデジタル化

補助率 1/2 限度額 150万円

■問合せ先

堺市地域産業課

TEL: 072-228-7534 FAX: 072-228-8816

堺市イノベーション投資促進室

○市税優遇制度(堺市イノベーション投資促進条例)

市内の工場等の新增築、建替え等や、都市拠点(都心地域、中百舌鳥地域、泉ヶ丘地域)での本社等の事業所整備について、一定条件を満たす場合に市税を最長5年間軽減します。

<基幹産業の発展に向けた投資の促進>

■対象となる投資

・工場、事務所の整備(製造業及び情報通信業の事業の用に供するものに限る)

・研究所、高度物流施設の整備

■対象地域

工業専用地域、工業地域、準工業地域

■軽減税目

固定資産税(家屋・償却資産)・都市計画税(家屋)・事業所税(資産割)

■優遇措置

投下固定資産額(土地を除く)1億円以上(大企業は10億円以上)の場合、1/2軽減

※成長産業分野の本社移転または研究所整備の場合、2/3軽減

<都市拠点を強化する投資の促進>

■対象となる投資

本社、研究所、事務所の整備

■対象地域

都心地域、中百舌鳥地域、泉ヶ丘地域

■軽減税目

固定資産税(家屋・償却資産)・都市計画税(家屋)・事業所税(資産割)

■優遇措置

投下固定資産額(土地を除く)10億円以上の場合、1/2軽減(本社・研究所の新設・拡充または市外からの移転の場合は、1億円以上)

※ただし、都市拠点の特性に応じて一定の要件を満たす場合、最大3/4軽減

○中小企業等経営強化法に基づく「先端設備等導入計画」の認定

中小企業者が労働生産性を向上させるため、堺市内の事業所において先端設備等(※)を導入する計画について、本市の認定を受け、一定の要件を満たす場合、以下の支援を受けることができます。

※先端設備等…機械及び装置、測定工具及び検査工具、器具及び備品、建物附属設備、ソフトウェア、事業用家屋(取得額の合計が300万円以上の先端設備等とともに導入されたもの)、構築物

■支援内容

・固定資産税の特例措置(要件を満たす場合、認定計画に基づき取得した先端設備等の固定資産税を3年間ゼロとする特例措置)

※2023年3月31日までに取得した資産に限ります。

・資金調達における信用保証協会の追加保証や保証枠の拡大 ※詳しい要件等については、堺市HP「中小企業等経営強化法に基づく「先端設備等導入計画」の認定」のページをご確認ください。

○堺市グリーンイノベーション投資促進補助金

脱炭素社会の実現に貢献する革新的技術に関する研究開発拠点や生産拠点の整備、CO₂の大幅削減や再利用等に係る設備投資について、費用の一部を補助します。(家屋・償却資産の取得費の合計が10億円以上で、大幅な温室効果ガス削減に貢献することが見込まれるもの。)

※補助要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

○堺市企業成長促進補助金

企業の本社や研究開発施設の整備、市内製造業が成長産業分野に挑戦する投資について、費用の一部を補助します。

※補助要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

○都市拠点の業務集積を促進する補助金

都市拠点の特性に応じた事業所の立地を促進するため、都心地域は業務系機能、中百舌鳥地域はスタートアップやICT関連企業、泉ヶ丘地域は次世代ヘルスケア関連企業の各オフィス開設に係る賃料等を補助します。

※補助要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

●問合せ先

堺市イノベーション投資促進室

TEL: 072-228-7629 FAX: 072-228-8816

堺市環境エネルギー課

○事業所向け省エネ設備等導入支援事業

(旧:堺市スマートファクトリー・スマートオフィス導入支援事業補助金)(先着12件程度)

省エネルギー専門家による省エネルギー診断を受けていることを条件に、所定の省エネ設備(ボイラ、変圧器、コンプレッサ等)を1種類以上導入する際、導入費用の一部を支援します(LED照明・高効率空調は補助対象外)。

■補助対象者

市内事業者(風俗営業等除く)及びリース事業者

■補助対象事業所

年間のエネルギー使用量が1,500kL未満である市内事業所

■補助対象事業・補助内容

補助対象経費(設備費)が30万円を超える事業であること。補助額は対象経費の1/3以内で削減要件及び補助上限額は以下のとおり。

事業所全体の削減要件(A・B・Cのいずれかを満たす事業)			補助上限額
A:エネルギー使用量	B:温室効果ガス削減量	C:最大需要電力	
5%以上※	5t-CO ₂ 以上	5%以上	90万円
1%以上	1t-CO ₂ 以上	1%以上	45万円

※温室効果ガス削減量 1t-CO₂以上に限る。

■申請期間

2022年5月中旬～2022年12月16日(ただし、予算額に達し次第、終了)

※コンプレッサの更新を考えている方は併せて「空気圧縮機・省エネアドバイザー派遣事業(無料)」をご検討ください。今お使いのコンプレッサの負荷率等を計測し、運用改善や設備更新による省エネ効果を試算します。また、希望に応じて吐出圧力の調節などチューニングを実施します。(先着6件)

●問合せ先

堺市環境エネルギー課

TEL: 072-228-7548 FAX: 072-228-7063

堺市雇用推進課

○堺市女性雇用促進等職場環境整備支援事業補助金

女性の職域拡大や働きやすい職場づくりを推進するために、職場における労働環境の改善に取り組む市内中小企業等に対して整備費用の一部を補助します。

■対象者

常用雇用労働者数が300人以下の法人又は個人事業主で、市内で1年以上事業を営み、本市が別に定める条件に該当する企業等。

■補助金額

補助対象経費の1/2以内(上限額50万円)

■補助対象

①専ら労働者の使用に供するための女性用施設(トイレ、シャワールーム、更衣室、休憩室)の整備 ②女性の就労に際しての安全対策

■募集期間

2022年4月1日～2023年2月28日(予定。ただし、予算額に達し次第、終了)

○堺市障害者雇用貢献企業認定制度

市内中小企業における障害者雇用を促進するため、障害者雇用に積極的に取り組む企業を認定し、企業情報の発信や奨励金の交付などで支援します。認定には審査があります。

■対象者

市内に本社のある従業員300人以下の法人又は個人で、障害者の法定雇用率を満たし本市が別に定める条件に該当する企業

■支援措置

①堺市ホームページ等を活用した企業情報の発信 ②奨励金の交付(要件を満たした企業のみ) ③中小企業活力強化資金融資「雇用貢献企業支援資金」の保証料免除 ④堺市の総合評価落札方式における加点 ⑤障害者雇用管理に係る情報提供

■申請期間

2022年6月1日～2022年7月29日(予定)

●問合せ先

堺市雇用推進課

TEL: 072-228-7404 FAX: 072-228-8816

令和4年度 産業DX支援センター

全産業が対象 ～産業DX支援事業～を活用ください!!

令和4年度、堺市産業振興センターでは、デジタル技術や自動化技術を活用し、既存事業の新たな価値創造や新規ビジネスの立ち上げ、経営にかかる各業務効率化を考えている堺市内の中小企業等向けに、Web窓口相談やオンラインまたは現地でのコンサルティング支援を行います。

支援を受けられた方には、システムの導入に向けた、ロードマップ（システム導入提案書）を作成し、必要に応じシステムを提供するベンダー企業（主に堺企業）をご紹介しますと共に、各種補助金活用のアドバイスも行います。詳しくはホームページで確認ください。



相談から導入までの流れ

窓口相談（随時）

相談申込書をお送りください。窓口相談は、日程調整の上行います。相談はWEB面談も活用します。

オンライン・ 現地コンサルティング

エキスパートが現状把握～診断の上、課題解決できるシステムを企業と二人三脚で検討します。

ロードマップ作成

エキスパートがシステム導入までのロードマップを作成。身の丈に合ったシステムの仕様を複数提示します。

必要に応じ ベンダーマッチング

ロードマップを基に、主に堺市内のシステム提供ができる企業をご紹介します。（紹介無料）

お問い合わせ先 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課

TEL : 072-255-6700 / FAX : 072-255-1185 Email : keiei_shien@sakai-ipc.jp

貸会場のご案内「イベントホール・セミナー室・会議室」

イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大会議室、セミナー室、小ホールなど、幅広く対応可能な14会場をご用意しています。会議、研修会、講演会、展示会、パーティなど様々な用途でご利用いただけます。空き状況はインターネット上（堺市施設予約システム）でご確認いただくか、お電話でお問い合わせください。

【利用時間】 9:00～21:00

【休館日】 年末年始（12月29日～翌年1月3日）

【駐車場】 約230台（無料）

【最寄り駅】 中百舌鳥（なかもず）駅から約300m



イベントホール（展示会形式）



セミナー室3（スクール形式）



ミーティングルーム（会議形式）

お問い合わせ先 堺市産業振興センター 貸会場

TEL : 072-255-0111 ホームページ : <https://www.sakai-ipc.jp/>

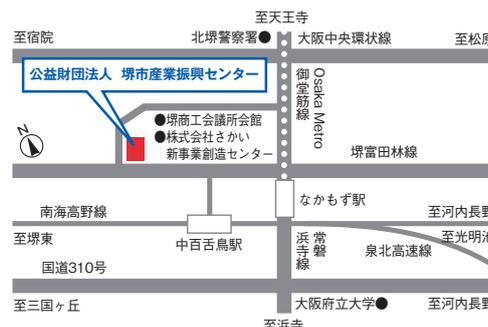


堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5

TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200

<https://www.sakai-ipc.jp/>



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場（無料）がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

継ぐ 極意

さまざまな事業継承の
有り様をご紹介します

創業の理念を 次代へつなぐ親族外承継

代表取締役 黒岩 徹也 さん

(黒岩 徹也 社長)

(澤田 由文 会長)

株式会社ケアサポートリンク

堺市南区槍尾114-1 TEL.072-242-6169

代表者名/代表取締役社長 黒岩 徹也
設立/2007年創業 2010年設立
資本金/500万円
従業員数/79名

事業内容/訪問看護サービス、ケアプラン
作成、その他保険外サービスなど

澤田会長が2007年にケアプラン
センターとして創業。その後、訪問
看護や訪問リハビリなど事業領域
を拡大し、2018年からは障がい
者福祉事業にも取り組む。2020
年には看護小規模多機能型居宅介
護施設を開業、地域に密着した
サービスを365日提供している。



(株)ケアサポートリンク
ホームページ



昨

年9月に経営を承継した黒岩徹也社長。「ケアサポートリンク」でのキャリアは非常勤スタッフからのスタートでした。「大学卒業後、アパレル業界を経て、社会に貢献できる職をと作業療法士に転職しました。当初、病院に勤務しており、当社が訪問リハビリを始める際にお手伝いしました。患者さんとじっくり向き合える訪問リハビリは、作業療法士としての力量が問われますし、やり甲斐もあります。会長から「正社員にならないか」と誘われ続け、2011年に正式に入社しました」。

一方、創業者の澤田由文会長も異色の経歴の持ち主です。准看護師や土木施工管理技師として働いたのちに50代から介護の世界へ。起業後、在宅介護を支援するうちに、障がいや難病を抱える人や引きこもりなどの課題にも直面。幅広い支援事業を展開するようになったことが、今日の同社の強みとなっています。

ところで、以前から65歳での退任を考えていたという澤田会長。「子どもには子ども的人生がある」と親族への承継は考えず、早くから黒岩社長を後継者候補としていました。「勤務年数は関係ない。会社を存続させることが第一の目的であり、彼の高いリーダーシップに期待している」と語っています。「会長が作ったこの会社の発展に寄与したい思いは強いものの、代表を務めるつもりはなかった」と話す黒岩社長ですが、経営塾に1年間通うことで、当社の強みを活かした経営戦略を練ることの面白さに気づかされたとか。「自分のやりたいようにやったらいい」と背中を押してくれた澤田会長の理念を引き継ぎながら、事業内容やエリアの拡大など、自分なりのビジョンを打ち立てていきたいと語っています。

堺のものづくりから生まれた逸品

SAKAIの傑作

古墳のオリジナル商品で 大阪唯一の 世界遺産をPR

赤とグリーンに紙袋に、前方後円墳をデザインした黄金のスリーブというパッケージが目を引く「もずふるサブレ」。ホウユウ株式会社の関連会社「つーる・ど・堺」が企画開発したオリジナル商品です。サブレには古墳から出土した副葬品の埴輪や甲冑などがかわいいイラストで描かれており、ホウユウではこのために食品プリンターや、個包装できるラインを導入しました。「以前は市外の菓子メーカーでサブレを製造していたんですが、コロナ禍に在庫を抱えないよう小ロット生産に応じてくれる市内の和菓子屋さんに変更。そのタイミングでサブレの形は長方形から古墳型に、レシピも葛粉入りとなりました」とプロデューサーの松永友美さん。小ロット生産ゆえに味の種類も増えて、プレーンに加え抹茶味も登場。

古墳をモチーフにしたオリジナル製品は他にも、エコバッグやTシャツなど幅広く展開しており「こうしたグッズを通して、大阪府唯一の世界文化遺産『百舌鳥・古市古墳群』をもっとアピールしていきたい」と松永さん。

もちろん、お得意の紙雑貨では、同社オリジナル「堺柄」の描かれた「堺カミモノ」ブランドとして、一筆箋やレターセット、マスキングテープなどがあります。とりわけ、ユニークで愛らしいキャラクターが人気を集めている「古墳といちゃいちゃシリーズ」は、古墳マニアを自認する松永さんの熱い思いが込められているようです。



新社屋のイメージ図



写真左がプロデューサー・松永友美さん、右が代表取締役・田中幸恵さん

ホウユウ株式会社

1975年の創業以来、主に機関誌や論文集といった文字ベースの小ロット印刷を得意としてきたホウユウ株式会社。地域に密着した活動にも注力し、1995年に地域の魅力を発信する企画会社「つーる・ど・堺」を立ち上げたほか、その拠点として2012年には「紙カフェ」をオープンさせています。今年3月には新社屋へ移転し、雑貨店・セルフカフェ・ゲストハウスに加え、別館では着物で堺散策の体験ができる事業をスタートさせています。

一方、コロナ禍に多くのイベントが中止され、グラフィック印刷の需要が減少するなか、文字ベースの印刷物の注文が安定していることから、田中幸恵社長は「本業では、当社が強みとしてきた文字ベースの印刷で今後も競争力を発揮していきたい」「紙カフェでは引き続きクリエイティブな小ロット印刷を提案していきたい」と語っています。

代表者名／代表取締役 田中 幸恵
本社／堺市堺区綾之町東1丁1-8
TEL／072-227-8231
設立／1975年設立
資本金／1,000万円
従業員数／12名
事業内容／印刷全般、WEB企画制作、デジタルワーク、オリジナルグッズの企画製作



ホウユウ(株)
ホームページ

堺に活気を、ものづくり応援マガジン



堺のものづくりから生まれた逸品

SAKAIの傑作

古墳のオリジナル商品で
大阪唯一の世界遺産をPR

ホウユウ株式会社

記事は次ページへ続きます▶▶

2022年3月末~6月末頃まで堺市産業振興センター1F「さかいモノてらす」で展示予定